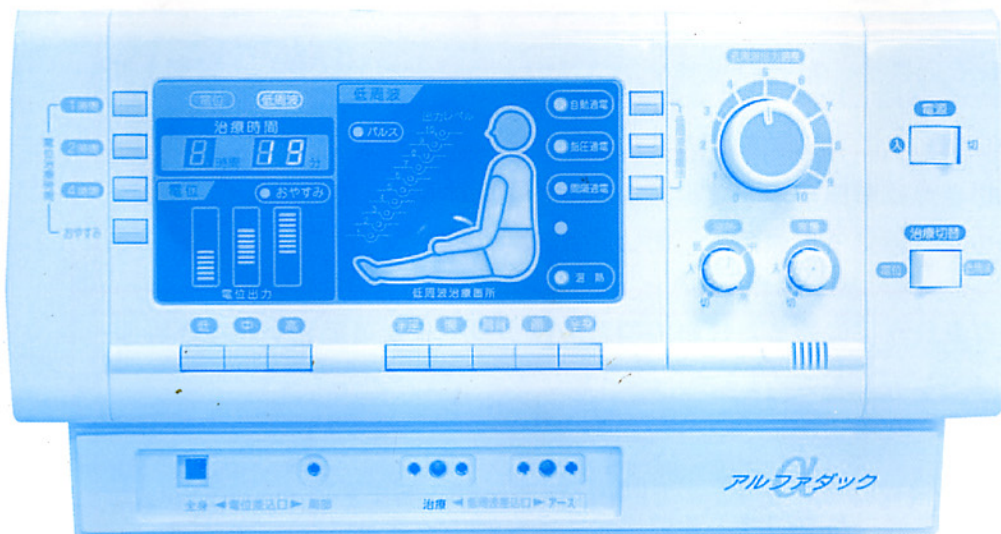


家庭用治療器

アルファダック



医療用具承認番号 20100BZZ01007

このたびは、商品お買上げありがとうございます。
この取扱説明書を、よくお読みの上、正しくご使用ください。
そのあと大切に保管し、必要なときお読みください。

取扱説明書

目次

- 安全上のご注意 1
- 商品の内容 5
- 低周波治療法
 - ・各部の名称 6
 - ・低周波治療での使い方 7
 - ・操作方法 8
- 電位治療法
 - ・各部の名称 11
 - ・電位治療での使い方 12
 - ・操作方法（全身治療） 13
 - ・おやすみタイマー使用 14
 - ・操作方法（局部治療） 15
- 修理(点検)を依頼される前に
お手入れと保管 16
- アフターサービス 17
- 仕様 18

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や、他人への危害、財産への損害を未然に防止するため必ずお守りいただくことを、つぎのように説明しています。

- 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や、損害の程度を、つぎのように表示で区分し、説明しています。



危険

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う差し迫った危険の発生が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

- お守りいただく内容の種類を、つぎの絵表示で区分し、説明しています。（下記は絵表示の一例です）



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容をあらわしています。



このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容をあらわしています。

※ いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

※ お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

安全上のご注意

必ずお守りください

⚠ 危険



下記のような医用電子機器等との併用は、誤動作をまねくおそれがありますので使用しないでください。

- ・ペースメーカー等の体内埋込型医用電子機器を使用している人
- ・人工心肺等の生命維持用電子医療用機器を使用している人
- ・心電計等の装着型の医用電子機器を使用している人

⚠ 注意



次の人は、必ず医師とご相談の上ご使用ください。

- ・医師の治療を受けている人や特に体に異常を感じているとき。
- ・悪性腫瘍のある人
- ・心臓に障害のある人
- ・妊娠している人
- ・熱の高い人
- ・感染症のある人
- ・皮膚知覚障害、又は、皮膚に異常のある人
- ・急性疾患の人

安全上のご注意

必ずお守りください

⚠ 注意



- ・交流100V以外では使用しないでください。発火・感電の原因となります。
- ・コンセントのゆるみ、ガタツキがあるときは使用しないでください。発火・感電・ショートの原因となります。
- ・乳幼児や体の不自由な方には、付添いなしでは使用しないでください。誤動作による故障・事故の原因となります。
- ・電源コードや電源プラグがいたんだり、コンセントの差込みがゆるいときは使用しないでください。感電・ショート・発火の原因となります。
- ・浴室など湿気の多い場所では使わないでください。感電・故障の原因となります。
- ・電気毛布、電気カーペット等の暖房器具とは同時に使用しないでください。故障・事故の原因となります。
- ・治療マットは針やピンなどで突き刺したり、傷つけたり、他のものにぬいつけたりしないでください。発火・感電・故障の原因となります。
- ・治療目的以外には使用しないでください。故障・事故の原因となります。
- ・電源プラグにピンやゴミを付着させないでください。感電・ショート・発火の原因となります。
- ・電源コードや導子コードを針やピンなどで傷付けたり、折りたたんだり、重い物を載せたり、挟み込んだり、加工しないでください。コードが破損し、発火・感電の原因となります。



- ・分解・修理・改造などはしないでください。発火・故障・事故の原因となります。

安全上のご注意

必ずお守りください

⚠ 注意



- ・ 本器の設置場所及び持ち運びには注意し、落下のおそれがないようにしてください。故障・ケガの原因となります。
- ・ 使用中に体に異常があらわれたり、異常を感じたときは直ちに使用を中止し、医師に相談してください。
- ・ 作動しなくなったり異常がある場合は、すぐに電源プラグを抜いて販売店又は製造元に点検・修理をご依頼ください。感電・漏電・ショート・発火のおそれがあります。
- ・ 電源プラグ、導子、コード類に亀裂や発熱が生じたときは使用を中止し、販売店又は製造元にご連絡ください。感電・漏電・ショート・発火のおそれがあります。
- ・ 本体、付属品などは清潔にし、湿気の少ない所に整理、保管してください。故障の原因となります。
- ・ 本体や治療マットにお茶や水などをこぼしたときは使用を中止し、販売店又は製造元の点検を受けてください。発火・感電・故障の原因となります。
- ・ 長時間ご使用にならないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。漏電・発火の原因となります。
- ・ お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。またぬれた手で抜き差ししないでください。感電やけがをすることがあります。



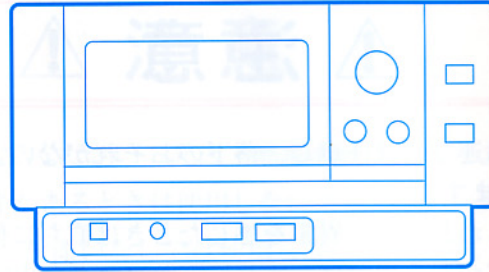
- ・ 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端のプラグを持って抜いてください。感電・ショート・発火の原因となります。

● 商品の内容

アルファダックは図に示します部品で構成されております。ご開封の際ご確認ください。

また、図右側に示しております別売付属品を準備しておりますので、販売店、販売員にお問い合わせください。

標準セット付属品
(お買上げ商品のセットです)



●アルファダック本体

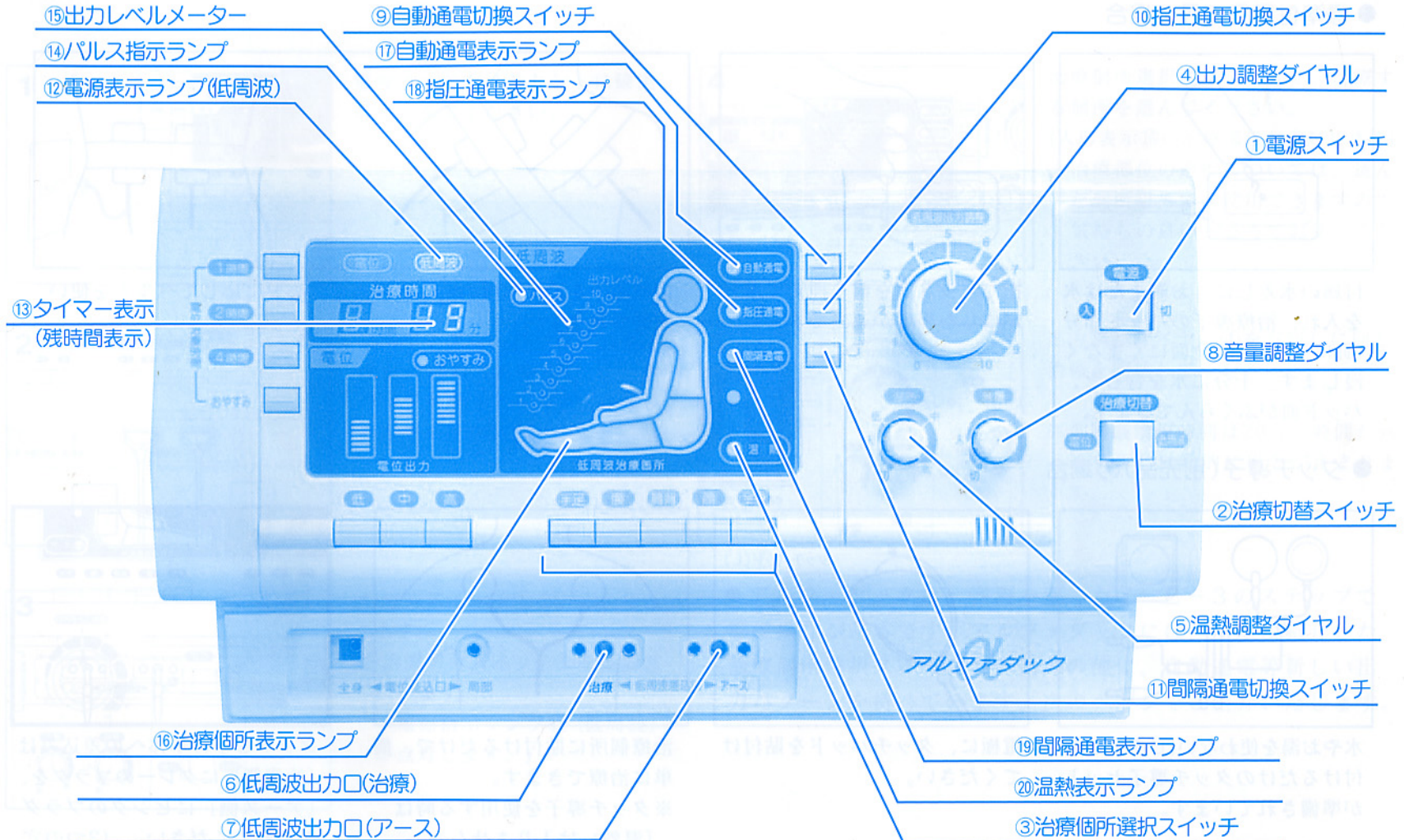
別売付属品
(ご用命の場合は販売店まで…)

標準セット付属品		別売付属品	
低 周 波	電 位	低 周 波	電 位
<p>極性表示 (+) (-) グレー・治療 ピンク・アース</p> <p>●低周波導子 (温熱出力時) 1組</p> <p>●マジックベルト (2本)</p> <p>●水差し 1ケ</p> <p>●パッドセット 10枚 (低周波導子用)</p>	<p>●電位治療マット 1枚</p> <p>●テスター(検電器) (1ケ)</p> <p>●イオンペン 1本</p> <p>●絶縁マット 1枚</p>	<p>1組</p> <p>10組</p> <p>●タッチ導子セット</p>	<p>●イオンパンチ 1本</p> <p>●電位局所導子 1枚</p>

低周波治療

●各部の名称（低周波治療の場合） 音声内蔵

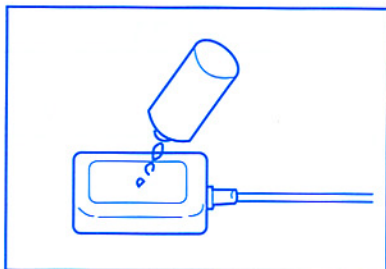
低周波治療をお使いの場合、操作を行う各部を示します。



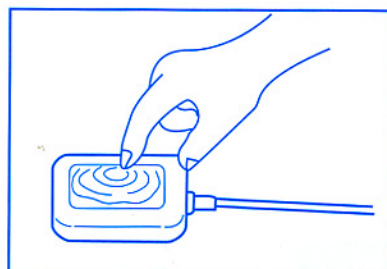
● 低周波治療での使い方

低周波治療を行う前に、次に示します導子の準備をします。

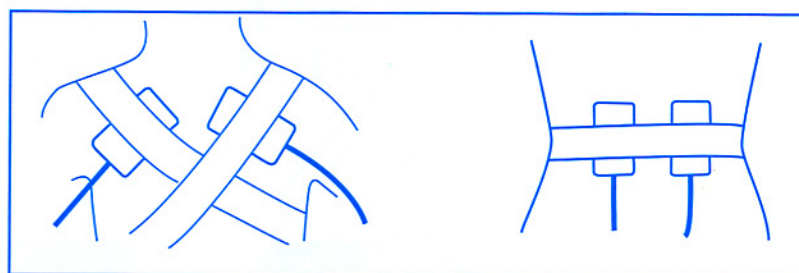
● 標準付属品導子の場合



付属の水差しに、お湯または水を入れ、治療導子のパッド部分(肌に当る部分)全面にくまなく浸します。十分に水を含むと、パッド面がふくらんできます。

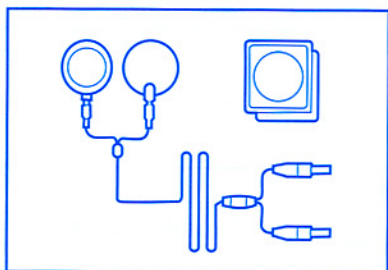


指でパッド面を軽く押えて水分がにじむ程度が適当です。

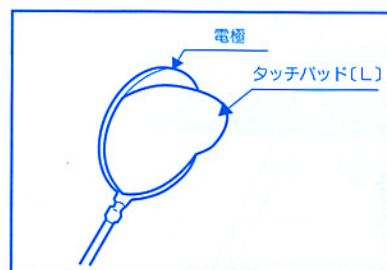


治療導子を治療個所の肌に直接あて、必要に応じてベルトを使い密着させます。

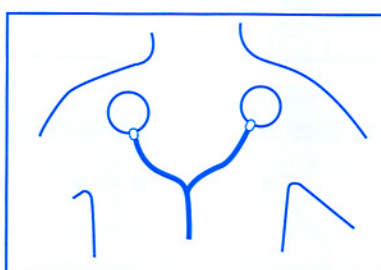
● タッチ導子(別売品)の場合



水やお湯を使わない、ピタッと貼付けるだけのタッチ導子セットが準備されています。

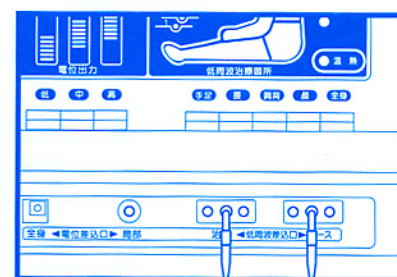


電極に、タッチパッドを貼付けてください。



治療個所に貼付けるだけで、簡単に治療できます。

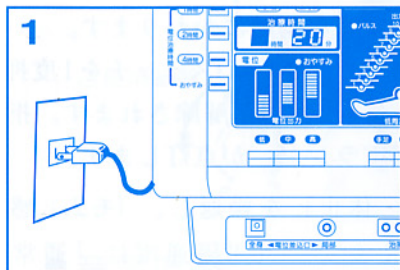
※タッチ導子を使用する時は「温熱」は入りません。



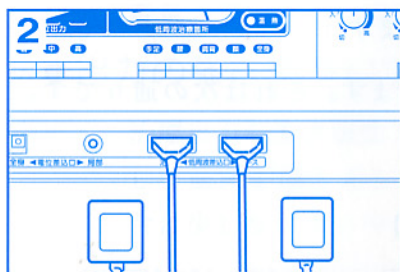
タッチ導子の本体への差込みは〔治療側〕にグレーのプラグを、〔アース側〕にピンクのプラグを入れてください。(3つの穴の中央に差し込んでください。)

●操作方法（低周波治療）

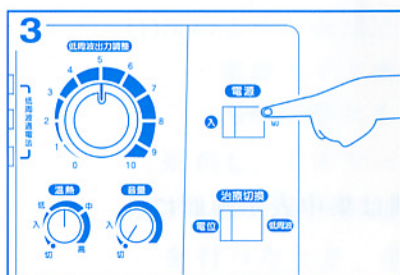
低周波治療法の基本である「通常通電」の操作方法を説明します。



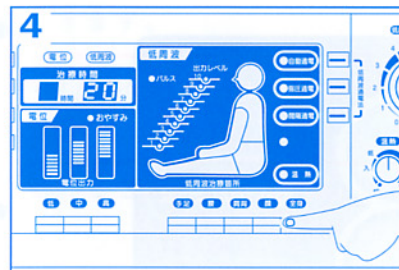
電源コードをコンセントに確実に差込んでください。



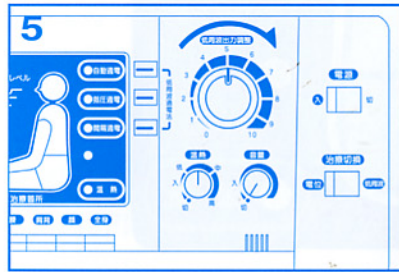
治療導子グレーのプラグは低周波出力口の〔治療⑥〕、ピンクのプラグは〔アース⑦〕に差し込んでください。



(1)電源スイッチ①を「入」にします。
(2)治療切替スイッチ②を低周波にします。
(電源指示ランプ⑫〔低周波〕が点灯します。)



治療個所選択スイッチ③で、治療する個所を選んでください。
(人形表示⑬の治療部位が点灯します)
※治療部位の選択については、選んだ個所以外でも使用できますので気持ちの良いところでお使いください。



出力調整ダイヤル④を右回しに回し、治療を開始してください。

※低周波治療時間は20分。時間が到達すると自動的に出力が止まります。

●アルファダックは、音声を使った1-2-3のステップで簡単操作が基本です。アルファダックには、4項に紹介した治療個所選択スイッチでの出力の他に、自動通電等新しい出力パターンを持っています。次のページでご紹介いたします。

●アルファダックは豊富な出力を持っています。

アルファダックは豊富な低周波出力群を持っています。また、その操作はワンタッチスイッチ切替で簡単におこなえます。（集中画面右側のスイッチを操作します）その出力群は、次のものです。



- 自動通電……治療選択個所に合せた、コンピュータープログラム出力です。（スイッチを1度押すと設定され、さらに1度押すと解除されます。自動通電中は「自動通電ランプ」が点灯します。）
- 指圧通電……治療出力の感じが押す様な刺激にかわります。腰等の治療にお役立てください。（スイッチを1度押すと設定され、さらに1度押すと解除されます。指圧通電中は「指圧通電ランプ」が点灯します。）
- 間隔通電……治療出力が〔通電・休止〕を繰返し、「モム」感じで治療がおこなえます。（間隔通電は「通常通電」で設定できます。「自動通電」スイッチを押すと解除されます。）

この機能は組合せて使うことができます。それは次の通りです。

【通常通電＋指圧通電】

【通常通電＋間隔通電】

【通常通電＋指圧通電＋間隔通電】

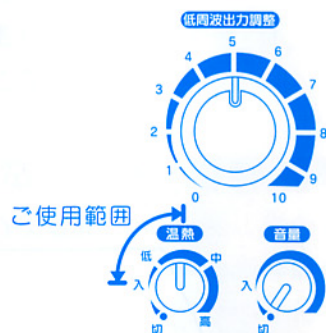
【自動通電＋指圧通電】

●タイマー(治療時間)について

低周波療法は、電子タイマーにより20分間に設定されています。

「自動通電」に切り替えますと、治療時間は「20分」に再設定されます。また、治療時間は集中表示画面に残り時間が表示されます。

●低周波の治療導子は温熱(保温)付です。



低周波治療は、冬等寒いときにも暖く気持ち良く治療をするために、治療導子に温熱発生ヒーターを内蔵しています。

お使いになる時は、2～3分間導子を体につける前に、予熱をしていただくと暖い状態で装着できます。



・低温やけどの恐れあり。
温度調整ダイヤルは左図に示す矢印の範囲内でお使いください。

(矢印より右側は予熱のときお使いください。)

●音量調整

音量調整ダイヤルを右に回し好みの音量でご利用ください。

●出力の強さ調整について

治療出力の強さ調整ダイヤルを徐々に右に回してください。低周波の出力刺激がだんだんと感じはじめ、そして筋肉が動きだします。右に回し強くしすぎると、圧迫感を感じる場合がありますので、このような場合は少し左にダイヤルを戻しながら気持ちの良いところでお使いください。

●低周波治療における安全装置について

(1)次のような場合には、出力調整ダイヤルは内蔵されたモーターにより自動的に「0」の位置に戻ります。

- ・電源スイッチを「切」より「入」にしたとき。
- ・治療切替スイッチを「電位」より「低周波」にしたとき。

※但し、タイマーにより治療が終了したときは、自動的に「0」の位置まで戻ります。

(2)アルファダックは、治療途中で出力内容の切替（治療部位スイッチ、自動、指圧、間隔通電スイッチ）

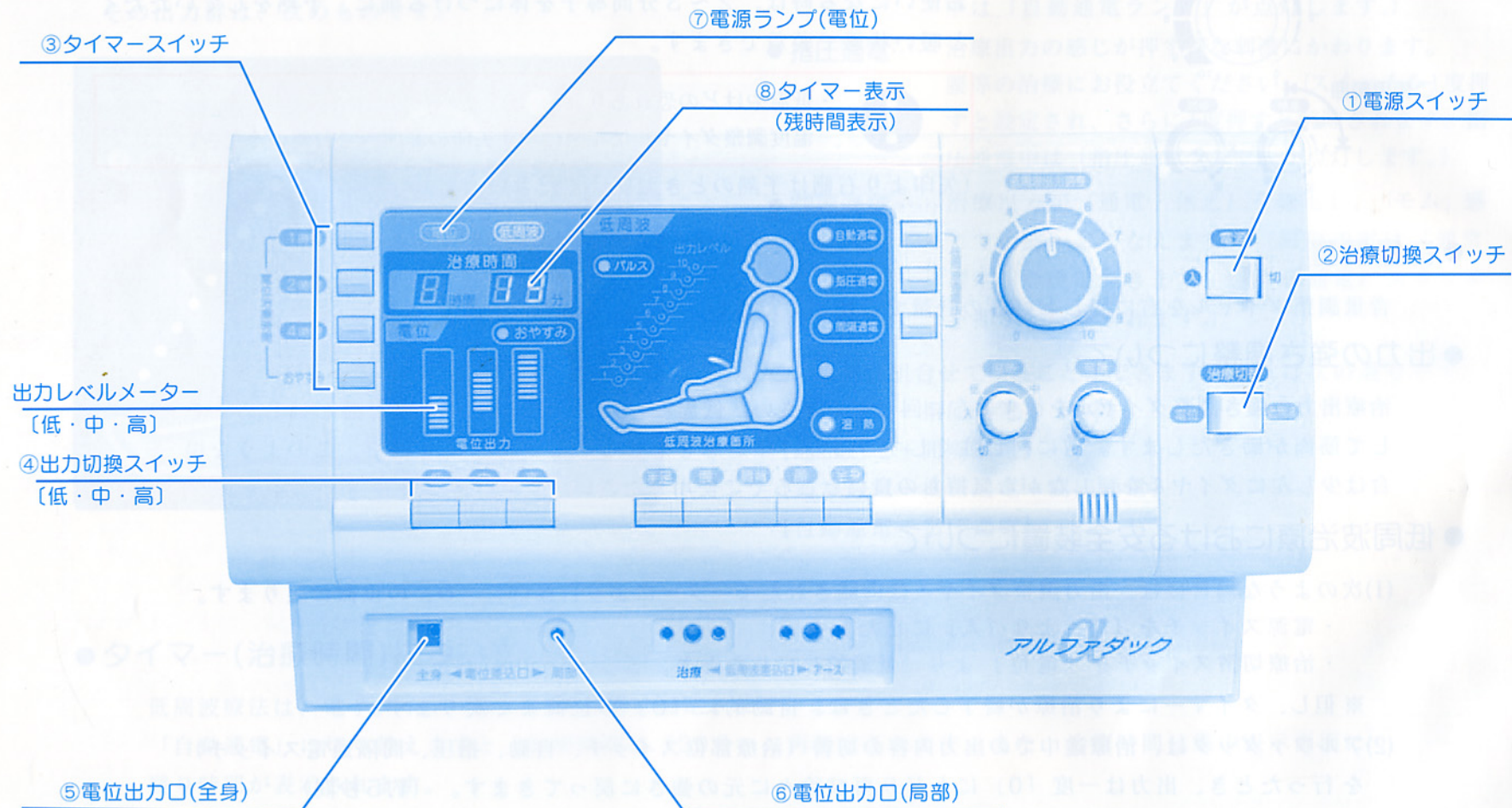
を行ったとき、出力は一度「0」にもどり再び徐々に元の強さに戻ってきます。（約5秒間）

※このとき、出力調整ダイヤルは動きません。

電位治療

●各部の名称（電位治療の場合） 音声内蔵

電位治療をお使いの場合、操作を行う各部を示します。



● 電位治療での使い方

(1) 全身治療

電位治療(全身治療)は、右図に示す方法のいずれかでおこなってください。

● 電位治療時間割(標準)

電位治療を初めておこなわれる方は、下記の標準通電時間にしたがってご自分の体調に応じて徐々に身体をならしていくことを基本にしてください。

(この表は1つの例ですので、販売員にご相談下さい。)

期 間	出 力	治 療 時 間
第 1 週	低	1 時間
第 2 週	低	1 時間
第 3 週	低	2 時間
第 4 週	中	1 時間
第 5 週	中	1 時間～ 2 時間
以 降	中～高	1 時間～ 4 時間

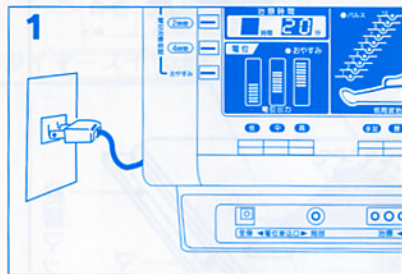
電位治療には「おやすみ」タイマーもついています。

「おやすみ」タイマーを利用される場合は、14ページをご参考の上お使いください。

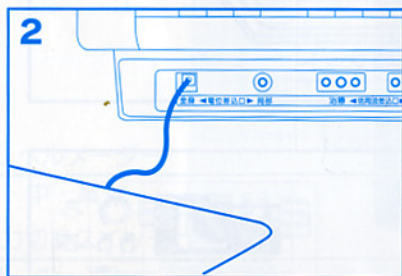


● 操作方法(電位治療)

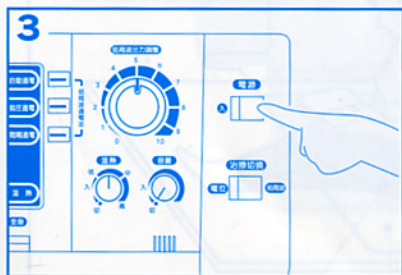
● 1 全身治療



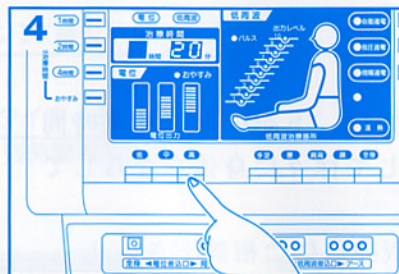
電源コードをコンセントに確実に差込んでください。



電位治療マットを電位出力口〔全身〕⑤に差し込んでください。



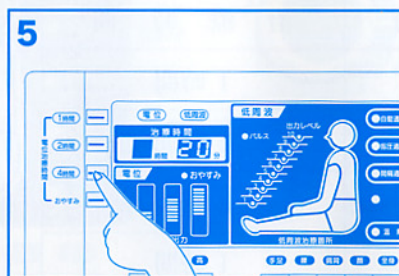
- (1)電源スイッチ①を「入」にします。
- (2)治療切替スイッチ②を「電位」にします。
(電源指示灯〔電位〕が点灯します。)



出力切替スイッチで、出力の強さを設定してください。

【低】【中】【高】

※初めてお使いになる方は、12ページの表を参考にお使いください。



治療時間を設定してください。

時間は【1時間】【2時間】【4時間】【おやすみ】の4種類です。

※【おやすみ】タイマーは、4時間タイマーです。1時間、2時間、4時間のいずれかが利用できます。

テスターの使用方法

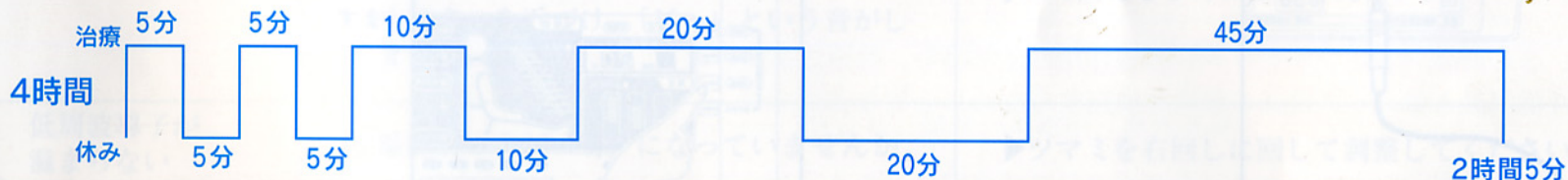
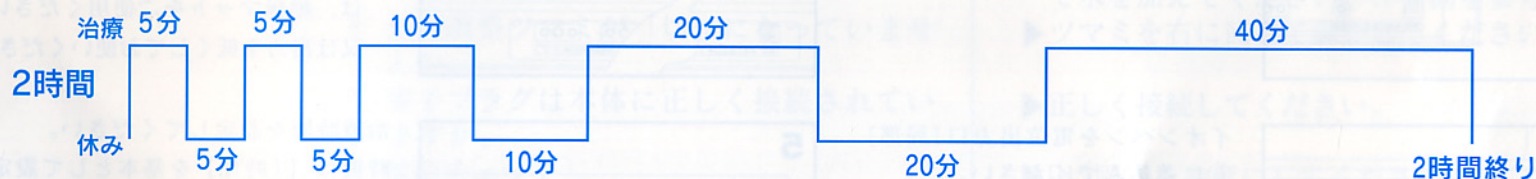
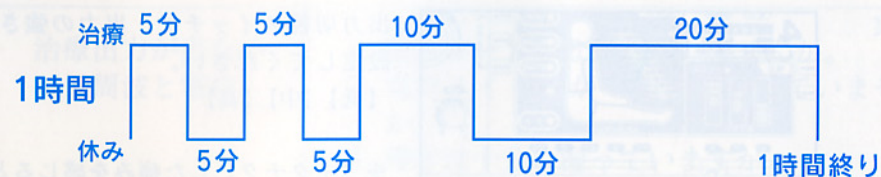


治療する状態にセットしておいて、テストする人は畳の上において、テスターを治療マットに近づけると「ピー」という音がします。

※テスターは、電位出力が正常であることを確認するためのものです。

●おやすみタイマーの使用

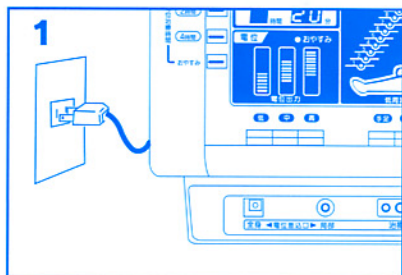
おやすみタイマーを押して、1時間、2時間、4時間のいずれかを利用した場合、下記の内訳になります。



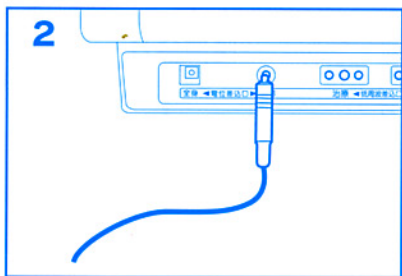
2時間までの治療時間と同じく繰り返し

●操作方法(電位治療)

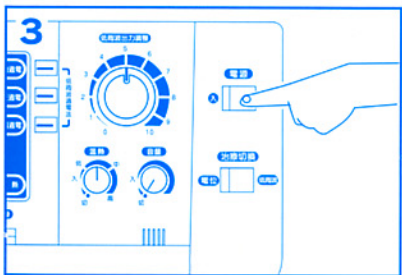
2 局 部 治 療



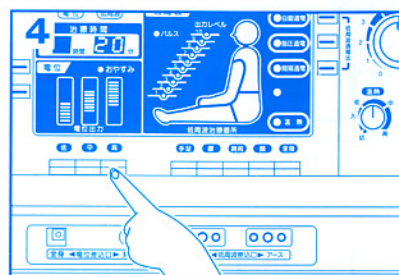
電源コードをコンセントに確実に差込んでください。



イオンペンを電位出力口〔局部〕⑥に差込んでください。



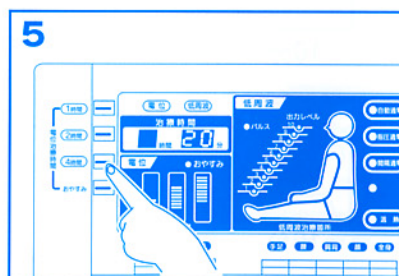
- (1)電源スイッチ①を「入」にします。
- (2)治療切替スイッチ②を「電位」にします。(電源指示灯〔電位〕が点灯します。)



出力切替スイッチで、出力の強さを設定してください。

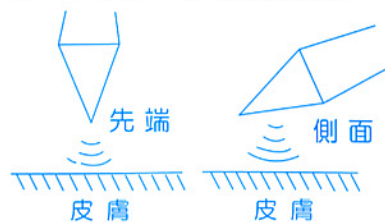
【低】【中】【高】

※「チクチク」した痛みを感じるときは、絶縁マットをご使用ください。
又は出力を低くしてお使いください。



治療時間を設定してください。
時間は【1時間】を基本として設定します。

6 イオンペン使用方法



治療の際、畳やカーペットの上で治療されると刺激を強く感じることがありますので、マット等の絶縁物の上においてイオンペン先端および側面で治療してください。

● 修理(点検)を依頼される前にぜひご覧ください。

本器が正しく動作しないと思われる時、下表の内容をまずご確認ください。

困った状態	確認してください	このようにすれば
治療出力が出ない (低周波と電位)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 電源コードがはずれていませんか。 2. 電源スイッチが「切」になっていませんか。 3. 導子は十分に湿っていますか。 4. 出力調整つまみが「切」になっていませんか。 5. 導子プラグは本体に正しく接続されていますか。 6. 電位チェック テスターを近づけ、「ピー」という音がしますか。 	<ul style="list-style-type: none"> ▶コードを正しく差込みます。 ▶電源スイッチを「入」にしてください。 ▶低周波導子面を軽く押えて水分がにじむまで水を加えてください。(P 7図を参考) ▶つまみを右に回して調整してください。 ▶正しく接続してください。 ▶P13図⑥を参考にしてください。
低周波導子が 温まらない	<ol style="list-style-type: none"> 1. 温熱つまみが「切」になっていませんか。 	<ul style="list-style-type: none"> ▶つまみを右回しに回して調整してください

以上のような方法で確認していただいても、正常な使用ができない場合は、本社、または、お買求めの販売店に、ご連絡ください。

お手入れと保管のしかた

本器及び付属品の保管については次のことにご注意ください。

保 管 温度・湿度の高い場所、または直射日光の当る場所等に保管しないでください。

お手入れ 汚れは台所用洗剤をうすめ、布にふくませ、拭きとってください。(シンナーやアルコールで拭かないでください)

